

小山市立地適正化計画（素案）に関するパブリックコメントの 実施結果について

上記（案）に関する意見を募集した結果、以下の貴重なご意見を頂きました。頂いたご意見とそれに対する市の考え方を取りまとめましたので、公表いたします。なお、ご意見は事務局により要旨としてまとめましたことをご了承ください。

1. 意見募集の概要

- ・ 募集期間 令和元年8月5日（月）から令和元年8月30日（金）まで
- ・ 計画閲覧場所 都市計画課、各出張所、市のホームページ

2. 意見提出者数及び意見数

- ・ 1件

3. ご意見要旨とそれに対する市の考え方

ご意見要旨	市の考え方
・小山駅周辺への「一極集中的な豪華なまち」を2040年に向けて形成しようというまちづくり計画について	・立地適正化計画は、一極集中のまちづくりを目指すものではなく、人口が減少する中で、中心拠点や地域ごとの生活拠点で、地域の特性に応じた施設の集積を図るとともに、各拠点を公共交通で結ぶことにより多世代の住民が円滑に移動できるまちづくりを推進するものです。また、立地適正化計画では、既存コミュニティの持続的確保や都市機能の各種サービスの効率的な提供を図る観点から、居住誘導区域や都市機能誘導区域を定める必要があります。 ・本市の計画においては、都市機能誘導区域を設定する拠点として位置付けている、小山駅周辺や間々田駅周辺以外に市内に点在する生活圏の中心となる地区においても将来にわたり暮らしに必要な機能が提供されるよう拠点を

<p style="text-align: center;">(第4章 71項)</p>	<p>設定しています。また、本市の特徴である充実した交通インフラを有した環境を活かし、各拠点における不足機能は公共交通による他拠点との連携により補完し、コンパクトにまとまった各拠点において利便性を享受できるまちを目指します。</p>
<p>・2040年の日本社会は想像した時に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①超高齢化社会 ②外国人との共生社会 ③ネットワーク社会 ④Sharing社会 ⑤自動化が進展している社会 <p>などと思っており、このような社会環境の中で重要なことは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ①老若男女、年寄りも若人も気軽に移動できる社会システム ②個性があるまち同士をネットワークで結び、革新的な移動媒体で結ぶことのできるまちづくり ③スマートホンを利用して、自動運転バスを予約し、自宅から目的地に移動できるシステム整備 <p>であると考え、このようなまちづくりが未来に向けた「立地適正化計画」ではないかと思うことについて</p>	<p>・立地適正化計画は、少子高齢化の進展や将来的な人口減少などの課題に対応するコンパクトなまちづくりを進めるための基礎となるマスタープランです。そのため、計画に記載している関連施策に関しては、まちづくりの基礎的な内容をもとに示しています。</p> <p>・ご指摘頂いた将来的に予見される多様な社会動向や、関連する各分野の事業などは、今後の市民ニーズや社会動向に注視しながら、計画を運用する中で、本計画と関連計画・事業等と連携を図ることにより実現していきます。</p>